



# 阪神北広域こども急病センター ニュースレター

平成  
29年度  
冬号



## 子どもの怪我！こんなとき、どうする？



寒さが本格的になり空気が乾燥すると、ウイルスの活動が活発化してきます。インフルエンザや感染性胃腸炎が流行しています。外出から帰宅後は手洗いうがいをして、感染予防に努めましょう。

### 何かを飲み込んだ！ こんなときどうする？

子どもが物をつかめるようになるのは生後3～4ヶ月ごろからです。そして、生後5～6ヶ月には、つかんだ物を口に持っていくようになります。2歳くらいまでの子どもは目にするものすべてが珍しく、口に入れてその性質を知ろうとします。食品とそうでない物を区別できるようになるのは早くても1歳6ヶ月～2歳以降です。したがって、誤飲の事故は生後5～6ヶ月を過ぎると急激に増加してきます。



#### → 子どもの誤飲の特徴

子どもの誤飲は乳児に多く、3歳未満が全体の90%を占めます。

誤飲する物は医薬品が最多く、次いでたばこ、プラスチック製品、玩具、電池、洗剤、硬貨などがあります。

#### ▶ 医薬品を飲み込んだら？

親や祖父母など大人向けに処方された医薬品は、血圧降下薬、血糖降下薬、精神安定剤など、用法用量を超えて大量に服用すると重い中毒症状がおこることもあります。



子どもが大人向けの医薬品を誤飲したら、直ちに医療機関を受診してください。誤飲した薬が残っていればそれと一緒に病院を持って行くようにしましょう。(薬品名、成分がわかるものを持って行きましょう)

#### ▶ たばこを飲み込んだら？



たばこは食べにくく、たばこのものを大量に飲み込むことはほとんどありませんが、食べた場合はすぐに口の中にあるたばこを取り出しましょう。この時水分は取らせないようにしましょう。危険なのは、吸いがらを浸した水を飲むことです。たばこの浸出液はニコチンが吸収されやすい状態にあるため、中毒症状が出やすいので注意が必要です。吸い殻を浸した水を飲んだ場合は、緊急に胃洗浄などの処置が必要になるので、直ちに医療機関を受診してください。

#### ▶ 洗剤を飲み込んだら？

「洗濯用パック型液体洗剤」は1回分の濃縮液体洗剤が水様性のフィルムに包まれた洗剤で、近年、日本でも製造販売されています。この「パック型液体洗剤」を子どもが舐めたり噛んだりしているうちに、フィルムが破れて中の洗剤を飲み込んでしまうことがあります。もし中身の液体洗剤を誤飲してしまった場合は、できれば口をすすぐせ、水か牛乳を少し飲ませて医療機関を受診しましょう。吐かせようとすると、吐物が気管に入ってしまうことがあるので、無理に吐かせるのはやめましょう。



#### ▶ 硬貨を飲み込んだら？



硬貨を飲み込んで胃の中に落ちていれば、数日のうちに便にててきます。しかし、食道にとどまってしまうことがあります。その場合は吐いたり、唾液が多くなったり、哺乳のたびに泣くといった症状がでてきます。食道で止まってしまうと食道の壁に穴が開くことがあるので、早めに取り出さなければなりません。

裏面へ続く

### ▶ボタン電池を飲み込んだら？

ボタン電池の中でもアルカリ電池、リチウム電池は危険です。食道や胃に穴が開いてしまうこともあります。急いで取り出す必要があるので、もしボタン電池を飲み込んでしまったら、何も飲まさず吐かせず、直ちに医療機関を受診しましょう。



### ▶病院に行くべきか、処置に迷ったら？

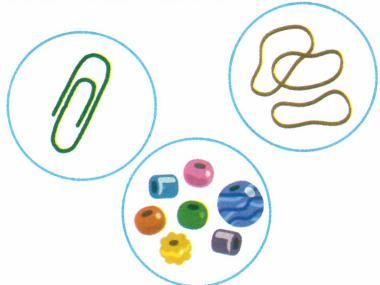
処置、対応の方法は中毒110番（日本中毒情報センター）で相談できます。



大阪中毒110番 (24時間対応)	072-727-2499
つくば中毒110番 (9時～21時対応)	029-852-9999
たばこ専用電話 (365日 24時間対応テープによる情報提供)	072-726-9922



### ▶誤飲は未然に防ごう！



子どもと同じ目線で部屋を見ると、意外と危険なものが多いことに気付きます。子どもが誤飲しないように、口に入りそうな物は子どもの手の届かないところに片付けるようにしましょう。また、子どもはテーブルクロスを引っ張ったり、踏み台を使って片付けた物を手にとることもあります。そのようなことが出来ないように気を配ることも大切です。普段からよく使っているもの、身の回りにあるものについては、誤飲の危険性の有無について確認するようにしましょう。

### 電話相談をご利用ください

◆阪神北広域こども急病センターでは、看護師による電話相談を行っています。

#### 電話相談

072-770-9981



#### 相談受付時間

平 日	午後 8:00～翌朝 6:30
土 曜 日	午後 3:00～翌朝 6:30
日・祝日・年末年始 (12/29-1/3)	午前 9:00～翌朝 6:30

子どもの急病でお困りのときは、お気軽にご相談ください。

### 診療のご案内

診療科目	小児科（15歳未満、中学生まで） ※原則、内科の診療となります	
診療受付時間	平 日	午後 7:30～翌朝 6:30 診察開始は午後 8 時から

土 曜 日	午後 2:30～翌朝 6:30 診察開始は午後 3 時から
日・祝日・年末年始 (12/29-1/3)	午前 8:30～翌朝 6:30 診察開始は午前 9 時から

#### 道路地図



阪神北広域こども急病センター

〒664-0015 伊丹市昆陽池2丁目10番地  
<http://www.hanshink-kodomoqq.jp/>

TEL : 072-770-9988

FAX : 072-770-9905